

事業評価書

補 助 事 業 名	医療に関する事業：自動体外式除細動器（ＡＥＤ）整備事業（基金）								
補 助 事 業 者 名	東京都立川市長								
実 施 場 所	市内公共施設及びコンビニエンスストア								
補助事業の成果の目標	自動体外式除細動器（ＡＥＤ）を市内の公共施設及びコンビニエンスストアに整備することにより、公共施設の利用者やコンビニエンスストアの周辺住民等が心房細動を起こして心肺停止状態に陥った際に、迅速かつ適切に応急的な救命措置ができ、心肺停止状態による死亡等のリスクを低下させられる環境を提供することで、地域住民等の生命及び生活を守る。								
補 助 事 業 の 内 容	市内公共施設及びコンビニエンスストアに設置する自動体外式除細動器（ＡＥＤ）について、維持管理する。								
補助事業の始期及び終期	基金の造成：令和３年度から令和11年度 基金の処分：令和４年度から令和11年度								
事業費及び交付金額	基金造成額(A)						基金 処分別 (B)	基金 残額 (A)-(B)	継続事業に 要した額
	年度	交付金	市町 村費 等	その他	運用益	計			
	3	30,000,000	0	0	0	30,000,000	0	30,000,000	0
	4	5,700,000	0	0	264	5,700,264	5,700,000	30,000,264	5,745,157
	5	11,072,000	0	0	299	11,072,299	11,072,000	30,000,563	11,639,848
	6	8,220,000	0	0	16,375	8,236,375	8,220,000	30,016,938	8,220,828
	7	10,140,000	0	0	61,919	10,201,919	9,952,000	30,266,857	9,952,272
補助事業の成果及び 評価並びに地域住民 への周知の実施状況	[補助事業の成果及び評価] ・令和７年度の使用実績は２回。 ・設置施設管理部署に対して聴き取りを実施。施設管理者からは「設置してあると安心」と設置の意義を確認した。また、施設利用者の声としては「高齢者の利用が多く、必要な機器」「外置きしてほしい」といった意見を確認した。 この事業より、自動体外式除細動器（ＡＥＤ）が多くの公共施設等に設置され、不測の事態に備えた環境が整い、安全安心のまちづくりに寄与できていると判断した。 [地域住民への周知の実施状況] ・自動体外式除細動器（ＡＥＤ）本体に当該交付金を活用して実施している旨を記載。 ・市の広報やホームページに当該交付金を活用し実施した事業である旨を掲載した。								
事業の改善措置及び 今 後 の 対 応	無								
事業評価に際しての 第三者機関の活用有 無	無								